

NEWS RRM

[ニューズ] Regional Resource Management



幸せそうな親子のコウノトリ。しかし、時には過酷な運命が待っている。

「コウノトリという鳥にどんなイメージをお持ちだろうか? インターネットで「コウノトリ」で検索をかけると、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科や兵庫県立コウノトリの郷公園も出てくるが、赤ちゃんを望む人々のグループも出てくる。つまり赤ちゃんを運ぶ幸せの鳥というイメージを抱いている人が多いと推察される。ところが...

コウノトリは一夫一妻?

2008年の1月のことである。前年から、1羽のオス(J0389)と繁殖を始めていたメス(J0384)が、違うオス(J0391)と連れ添うようになった。繁殖の相手が変わったと思っていたら、2月9日、そのメスは、J0389のいる巣に戻った。その後も、2羽のオスの巣を行き来したものの、最終的には、J0389の巣と一緒に1羽の雛を育てたのである。

コウノトリは一夫一妻の鳥であると思っていた市民から、J0384の行動に対し驚きと落胆の声が聞こえた。私としては、子育ては1オス、1メスで行なっているのだから、一夫一妻は崩れていない」と説明した。また、鳥類、特に渡り鳥では、ペアの相手を変えて繁殖することもあるので、繁殖前のこのメスの行動に正当性も感じていた。

ところが、2009年7月、同僚の研究者から驚くべきことを聞かされた。DNAによる父性判定の結果、2008年に巣立った雛の遺伝的オス親は、社会的オス親であるJ0389ではなくJ0391であったのだ。さすがに愕然となった。他の鳥類でも育ての親が実の親でない事例は知られて

幸せの鳥コウノトリのイメージが崩れる!

教授 大迫 義人

いるが、コウノトリでも同じ事が科学的に証明されると、複雑な気持ちになった。

コウノトリは自分の雛を食べる?

2018年にも大変なことが起きた。私は、研究のため野外のコウノトリの子育てをビデオ録画していたのであるが、4月6日に、オス親が徐に小さい雛に歩み寄り、啜えたとしたら生きたまま飲み込んでしまった。コウノトリの仲間であるシユバシコウやナベコウでは、自分の雛を巣の外に棄てたり摂食したりすることを研究論文で知っていたのだが、その瞬間を目の当たりにすると、人の親である私も動揺を隠せなかった。

実は、動物の世界では、同種の子どもを傷つけたり殺したりすることが、多くの種で知られているが、自分の子どもを殺す種は少なく、鳥類では、シユバシコウ、ナベコウ、オオミチバシリ、オオバン、オグロカモメなどで知られている。その理由としては、親の経験不足、強い捕食圧、人による攪乱、餌不足などがあると考えられている。しかし、そのような困難の中でも、親は犠牲をはらってでも残す子の数を最大にしようとしている。

これら以外にも、コウノトリは、なわばりをめぐって相手を傷つける、餌をめぐる夫婦喧嘩をする、外敵が近づくと親は雛を残して逃げるなど、いずれも幸せの鳥コウノトリのイメージが崩れそうな習性、行動である。しかし、これらは、自然淘汰によって残ってきたコウノトリの生態であることに間違いはない。だとすれば、私たちは、これからも彼らを見守ってゆくしかないのである。

Information

2023年度入学生募集

Information 01

博士前期課程(全日程合わせて定員12名)、博士後期課程(全日程を合わせて定員2名)の入学試験を実施します。日程は、博士前期課程は8月下旬、12月中旬、3月上旬の3回、博士後期課程は8月下旬、3月上旬の2回を予定しています。

試験内容は専門試験(小論文)と口述試験です。会場は豊岡ジオ・コウノトリキャンパス(豊岡会場)と神戸商科キャンパス(神戸会場)から選ぶことができます。

2022年度オープンキャンパス日程

Information 02

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科の受験を考えている方や、大学院の取り組みに興味がある方に向けて、下記の日程でオープンキャンパスを開催します。オープンキャンパスでは大学院や入学試験の概要を紹介し、施設や展示を解説付きでご案内します。また、オープンキャンパスの開催日を含む前6日間、個別相談を毎日受け入れます。随時受付しておりますので、希望日時と話を聞きたい教員を大学までお知らせください。

●2022年度オープンキャンパスの予定

春のオープンキャンパス	夏のオープンキャンパス	秋のオープンキャンパス	冬のオープンキャンパス
5月1日(日)	7月10日(日)	10月30日(日)	12月25日(日)
個別面談 4月26日(火)~ 5月1日(日)	個別面談 7月5日(火)~ 7月10日(日)	個別面談 10月25日(火)~ 10月30日(日)	個別面談 12月20日(火)~ 12月25日(日)

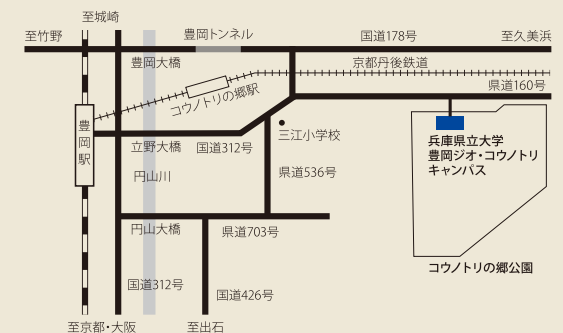
※新型コロナウイルスへの対応により今後の予定が変更になる場合があります。変更などの情報は地域資源マネジメント研究科のホームページに逐次更新していきますので、参加希望の方はご確認をよろしくお願いいたします。

[お問い合わせ] 各催しの詳細はウェブサイトをご覧ください。あるいはメール、電話にてお気軽にお問い合わせください。



兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 RRM

〒668-0814 豊岡市祥雲寺128
(兵庫県立コウノトリの郷公園内)
兵庫県立大学豊岡ジオ・コウノトリキャンパス
Tel. 0796-34-6079 Fax. 0796-22-5200
E-Mail: rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp
<http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/>



【写真提供】

- 大迫 義人：幸せそうな親子のコウノトリ。
しかし、時には過酷な運命が待っている
- 小長谷 誠：京丹後市小学6年生の野外学習「大地の学習」(琴引浜)
- 桑原 里奈：リリース方法と年齢の組み合わせごとの分散距離の大小
- 小山 元孝：大正11年(1922)建立網野神社本殿
- 今津 瞬：東山公園より望む城崎湯島
- 田井 魁人：共有スペースの清掃活動



UNIVERSITY OF HYOGO
発行:2022年 3月

